

令和8年8月14日



担当課	障害者支援課・保健対策課
担当者	大久保・松岡
電話	(073)435-1360・(073)488-5104
内線	5130・7532

障害支援区分認定調査及び審査会資料作成業務に AI 活用 ～和歌山市が技術開発を共創し、福祉分野の DX を推進～

和歌山市と株式会社 Jin は、障害支援区分認定調査等に AI を活用したシステム共創に関する連携協定を締結します。

本協定は、「障害支援区分認定調査及び審査会資料作成業務」において、AI 技術を活用した事務支援の在り方を検討・構築することを目的に、連携協定を締結することとし、次のとおり協定締結式を執り行います。こういった一連の流れにおいて AI を導入している事例は「政令指定都市及び中核市初」となり、先進性の高い取り組みであると言えます。

【協定締結式】

- 開催日時 令和8年8月20日（木）午前10時30分から
- 開催場所 和歌山市役所本庁舎4階 市長室

● 本協定締結の意義

和歌山市における障害福祉分野の障害支援区分認定調査及び審査会資料作成業務について AI を活用しながら業務の効率化と実務全体の生産性の向上を図る可能性を検討・構築していくものです。目指すものは、認定の判断そのものを AI に委ねるのではなく、調査員が行う判断を前提としつつ、認定調査に伴って発生する整理、記録、書類作成といった業務の支援であり、職員が本来より時間を使うべき確認や判断に集中しやすい環境を整えることです。

その結果として、市民が必要な障害福祉サービスをより早く、より円滑に提供できる状況を構築していくことに意義があると考えています。

● AI 導入による業務効率化の効果（全件数 AI 利用した場合）

◆ 作業時間の比較（1件当たり）

- ・現在：約3時間30分
- ・AI 導入後：約1時間50分
- ・削減時間：約1時間40分

◆ 年間削減効果

- ・2,000時間の削減

※年間調査想定件数：約1,200件

